令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
教　養	教養Ⅰ	1	１－１～１－Ａ

１．学習の到達目標

・人を尊敬し、思いやりの心を持ち、感謝の気持ちを言葉や態度に表わせるように、基本的なマナー・エチケットを身に付ける
・他人を思いやる心を育て、人権意識を高めるように務める

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	マナーとはエチケットとは 高校生としてのマナー ・家庭・近隣のマナー ・学校でのマナー ・公共の場でのマナー 日常の立ち居振る舞い ・生活の中での立ち居振る舞い ・洋室でのマナー ・自己紹介の仕方 「実技テスト」椅子の立ち座り　立礼３種 「期末考査」	・教養科学習の必要性について学ぶ ・家庭や学校、地域など生活を支えている人々と良好な関係を保ち、生活するため心構えを身に付ける ・マナーとはエチケットとは、高校生としてのマナーについて理解しているか確認する ・相手への気遣いと、その場にふさわしい立ち居振る舞いや日常のマナーを身に付ける ・洋室にふさわしい立ち居振る舞いを身に付ける ・お辞儀のＴＰＯの確認をする
２学期	高校生としてのマナー ・話し言葉のマナー 言葉づかい　敬語の基本　電話対応のマナー 茶菓のマナー〔煎茶〕 実技　煎茶を入れてもてなす、頂く ライフステージにおける慶事(冠のお祝い行事) 「実技テスト」自己紹介 「期末考査」	・日常生活におけるマナーを身に付ける ・日常の立ち居振る舞い、高校生としてのマナーについて理解しているか確認する ・お茶の入れ方を学び、おもてなしの心を学ぶ ・フォーマルマナー（冠）について理解しているか確認する
３学期	・年中行事マナー 暦 手話学習 ・あいさつ ・指文字 ・名前 「手話実技テスト」 「学年末考査」	・代表的な年中行事、お祭りなどを通じて日本の伝統文化を理解する ・手話がコミュニケーションの一つであると言うことを再認識させる ・手話の基本を学ぶ

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査による評価、提出物等授業態度による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、基本的な技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	教養に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、家庭生活の意義や役割を理解している。	教養に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付け主体的に取り組もうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	楽しく学べるマナーの基本（教育図書㈱）
副　教　材	私たちのエチケット（教育図書㈱） 聴さんと学ぼう（一般財団法人全日本ろうあ連盟）